

(石東麻里子先生)

• 専門分野：漢方内科(湯液、経穴注射)、総合内科

• 主な経歴：

臨床研修修了後、父の医院を急遽継ぐことになる。

漢方処方や鍼治療を求める患者さんに、東洋医学書を頼りに向き合う中で、確実な効果を実感し東洋医学に魅了される。

2009年、中国や韓国に翻訳出版されている「経方医学」の著者である江部洋一郎に師事、

3年間難治性疾患に対する漢方治療を学ぶ。傷寒論と金匱要略の脈診について体系的にまとめた「経方脈学」を共同執筆。

2012年、ミディ漢方医院福岡を開院。

8年間、院長として総合内科、時に一次救急的な役割を担い、西洋医学と東洋医学のそれぞれの長所を生かした診療を行う。

2020年、いしつか脳神経クリニックに漢方内科を開設。

対面診療とオンライン診療を組み合わせた診察スタイルで、患者さんのニーズに合わせた治療を行う。

• 役 職：いしつか脳神経クリニック(保険診療 漢方内科)

日本プラセンタ医学会理事(東洋医学部門、経穴注射専門)

久留米大学神経精神医学講座(非常勤)

• 主な活動：・ヤマノイモの成分研究、日本薬学会第145年会(2025年)

・第34回日本プラセンタ医学会大会実行委員長(2024年)

・プラセンタ療法の変遷~日本と中国での臨床応用と最新知見~、漢方の臨床、第71巻第2号(2024年)

・COVID-19流行下における補剤の奏効例、phil漢方 No.81(2020年)

・「健康応援フェスタ2020」講演「コロナ禍における漢方と養生のすすめ」、NHKエデュケーショナル(2020年)